

3月1日(月)～7日(日)は春季火災予防運動

その火事を 防ぐあなたに 金メダル

火災が発生しやすい季節になりました。家庭内での火の使用や電化製品の扱いについて、今一度、確認しましょう。



問合せ／消防本部予防課 ☎55-2859 FAX 53-4633 Efi-yobou@div.city.fuji.shizuoka.jp

(表1) 令和2年(1～12月)市内火災発生状況

	令和2年	昨年	過去10年の平均値
総出火件数(件)	65	72	81.5
火災種別	建物火災	41	42.6
	林野火災	0	1.5
	車両火災	8	11.1
	船舶火災	0	0.0
	航空機火災	0	0.0
	その他の火災	16	26.3
建物焼損棟数(棟)	54	48	55.1
罹災世帯(世帯)	37	26	28.7
建物焼損床面積(㎡)	1,458	11,566	3,554
死傷者	死者(人)	3	1.4
	負傷者(人)	11	13.4
損害額(千円)	144,399	1,099,825	467,732

(表2) 原因別火災発生状況(上位)

令和2年			昨年		
1位	たばこ	9件	1位	放火・放火の疑い	8件
2位	こんろ	6件	2位	こんろ	7件
	放火・放火の疑い		3位	電気機器	5件

※表1・表2とも速報値で、調査中の損害額などは含まれていません。

市内火災発生状況(令和2年)

【出火件数】

総出火件数は、1年間で65件となり、前年より7件減少しました。
火災種別で見ると、建物火災・その他の火災が1件増加し、車両火災が8件、林野火災が1件減少しました。



【出火原因】

出火原因の第1位は「たばこ」の9件(13・8%)で、第2位は「こんろ」と前年1位だった「放火・放火の疑い」がいずれも同数の6件(9・2%)でした。

命を守る7つのポイント

〈3つの習慣〉

- 寝たばこは、絶対にしない。
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

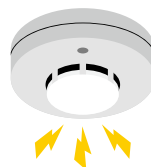


〈4つの対策〉

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 住宅用火災警報器などを設置する。
- 高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

住宅用火災警報器の設置を!

住宅用火災警報器は、富士市火災予防条例で全ての住宅の寝室、階段(寝室が1階以外の場合)に設置が義務づけられています。
火災時に作動するよう、定期的に警報音を確認しましょう。
警報器が古くなると火災を感知しにくくなるがあるので交換してください。



春季火災予防運動

内容／

- ひとり暮らし高齢者宅の防火診断
- 住宅用火災警報器の設置、取り替えや適切な維持管理を行うよう呼びかけ

火災予防キャンペーン

第35代かぐや姫クイーン鈴木蘭さんに一日消防長を委嘱し、富士市防火協会とともに火災予防運動の広報活動を行います。

とき／2月28日(日)

11時～11時30分

ところ／イオンタウン富士南

内容／火災予防啓発グッズ配布